



日本共産党 荒川区議会議員

横山幸次 区政通信

E-mail:kouji.office@gmail.com

890 2024年2月11日
日本共産党荒川区議会議員団
区役所控室 3802-4627
横山事務所
荒川区町屋5-3-5
&fax 3895-0504

定例法律相談
3月4日(月)
18時~20時
横山区議事務所
お気軽にご相談を

来年度
予算案

2024年 荒川区議会2月会議がはじまります(2/15~3/14)

2024年度予算案…過去最高の1219億円へ



荒川区一般会計予算…重点施策

Table with 2 columns: 重点施策 (Key Policy) and 予算額 (Budget Amount). Lists various social and infrastructure projects with their respective budget values.

区民の暮らしに寄り添った予算になっているのか?
暮らし、福祉最優先の予算編成を求めます
2月6日に来年度の荒川区予算案が発表されました。一般会計は2023年度比で85億3千万円、7.5%増の1219億円、過去最高の当初予算案です。
区は予算案について、「区民に寄り添い、誰もが安心して暮らせるまちを実現する予算」としています。この言葉通りになっているかが問われます。
予算全体の論点は:
第一に、迫りくる首都直下地震への対応です。能登半島地震では、建物の倒壊によって、人命を奪い、火災を起こし、道路をふさぐ避難や消火活動を阻害しま

荒川区議会2月会議日程(予定)
2月15日(木)10:00 本会議(一般質問)
20日(火)10:00 本会議(一般質問)
21日(水)10:00 総務企画、福祉・区民委員会
22日(木)10:00 文教・子育て、建設環境委員会
27日(火)~3月11日(金) 10:00~
予算特別委員会(全8回)
3月14日(木) 9:30 全員協議会、10:00 本会議
今後の予算特別委員会(全議員参加)で区民目線ですっきりと審議しチェックしていきます。ぜひみなさんのご意見をお寄せください。

今年度30周年を迎えている尾久の原公園のロゴマークを募集…2月末まで
尾久の原公園のホームページを見ると、毎月何らかのイベントが行われています。定期的には毎月の「自然観察会」で2月は越冬で訪れる「冬のカモ」と題して2月18日に行われます。もう一つ「尾久の原公園ってどんな公園ですか?」と題して尾久の原公園のロゴマーク募集が行われています。これは、今年度開園30周年を迎えたのを機会に、募集するものです。締め切りは、2月末。地域に親しまれている公園ですが、みなさんはどんな公園と日頃お感じ

町屋さくら復活・移動の自由保障を考える…(23)
デマンド交通実証運行を検証・実利用者21名
デマンドタクシー実証運行の登録者も131人で少ないのですが、実際に利用した人は、昨年末時点で24人、わずか18%です。当初から利用者のニーズからかけ離れた移動手段で、少ないだろうとは思っていましたが、惨憺たる結果です。区は、キチンと区民に説明すべきです。
デマンドタクシー実証運行実績(2023年12月末)
登録者数 131名
実利用者数 24名
運行日数 123日
登録者数 131名
予約件数 91件
利用者数 102名
1日当たり利用者 0.83人/日

区議会で 条例提案

区民の声を届け、くらし優先の区政へ全力 **日本共産党区議団** 「学用品補助」「補聴器助成額引き上げ」を提案します

子育ての負担ゼロの荒川区をめざし 小・中学校の教材費補助を条例提案

日本国憲法は、「義務教育無償」としています。しかし義務教育は、多くを家計の負担に頼っています。いま学校給食無償化に続き教材費など学用品無償化の動きも出ています。

中野区は、昨年9月から物価高騰による経済的負担軽減のため、保護者が負担する小中学校の教材費の一部を補助しています。

品川区は、この4月から書道用具や絵の具、ドリルなど副読本、お道具箱や計算カード、裁縫道具セットなど教材費を全額、区が負担し、保護者負担をゼロにします。(予算5億4千万)

新たな区負担なしで実現できません。荒川区でも子育ての負担ゼロをめざし、義務教育実質無償化をめざす取り組みが必要です。

実現できません

がんばります。

日本共産党区議団は、この議会に「学用品無償化」の条例案を提出します。

荒川区立小中学校児童生徒数は約1万3千人です。品川区は約2万1千人です。荒川区だと3億4千万円で実現できます。

学校給食の無償化の財源は、今回の都予算案で2分の1を東京都が負担することになりました。また子ども医療費無料化への国のペナルティーがなくなり区の負担が減ります。この二つだけで約4億円超の区負担が軽減されます。負担が減った分を「貯めこむ」のでなく、子どものためにこそ使うべきです。実現に向けて

「保護者が負担する教育調査報告書～学校納付金調査」
(東京都教育委員会 2021年度)
小学校児童1人当たり
教科活動費 8,640円
中学校生徒1人当たり
教科活動費 12,387円
修学旅行遠足費 13,107円



品川区予算プレス資料より (「子供の学習費調査」2021年度文部科学省)

補聴器購入助成の対象拡大が実現
さらに**助成額引き上げ**条例を提案します

区の予算案では、補聴器購入費助成の所得制限を廃止し対象拡大が実現しました。区の補聴器購入費用の助成は、対象を「65歳以上で加齢により補聴器を必要とする方」から「年間所得350万円以下」の制限がありました。新年度から所得制限が撤廃され65歳以上のすべての方を対象とします。

しかし補助
「年間所得が
350万円以下」
↓
「所得要件
なし」に



しかし補助
「年間所得が
350万円以下」
↓
「所得要件
なし」に

区民の憩いと運動の場として親しまれている荒川自然公園には、交通園があります。ゴーカートや自転車、一輪車などを貸出、交通園の中で自転車の練習を親子連れで楽しんでいます。交通園は開設後28年が経過、施設の改修が必要とされています。区は「多世代が参加・多様な利用法」を検討しています。飲食機能や休憩施設などの充実も考えているようです。新年度は基本計画を策定することになります。

今週のデータ 介護職のベースアップ物価上昇に届かず このままでは人材不足は一層深刻に…



岸田政権は30年ぶりの賃上げと自慢げに言いますが、物価上昇はマイナス2.5%です。その中でも医療、介護、障害福祉などの分野で昨年は国の報酬改定がなかったため放置されたままです。

岸田政権は今年物価・賃金上昇の見込みに合わせて2.5%引上げと見込み合わせにも届きません。介護職の人手不足は深刻であり、その大本には政権の無策があるのです。

都立特別支援学校の給食費も4月から無償に
区立小中学校の給食費は無償になりましたが同じ荒川区の子どもで都立特別支援学校に通学している場合無償化から外れていました。日本共産党区議団は、「都が実施するまでの間、区として同様に補助金を出すべき」と質問や予算修正を行ってきました。

1年遅れましたが、東京都が新年度予算で「都立学校給食無償化」を組み込み実現しました。声をあげることでも都政も動かすことが出来ました。

荒川自然公園交通園のリニューアル計画 2026年工事着工・28年完成予定…



区民の憩いと運動の場として親しまれている荒川自然公園には、交通園があります。ゴーカートや自転車、一輪車などを貸出、交通園の中で自転車の練習を親子連れで楽しんでいます。交通園は開設後28年が経過、施設の改修が必要とされています。区は「多世代が参加・多様な利用法」を検討しています。飲食機能や休憩施設などの充実も考えているようです。新年度は基本計画を策定することになります。

- 2024年度 基本計画
- 2025年度 基本設計・実施設計
- 2026年～2027年度 整備工事
- 2028年4月 リニューアルオープン

子育て世代はもとより、多くの区民のみなさんの声を聞きながら進めてほしいと思います。また、自然公園には、「夏場の日よけを何とかしてほしい」など改善を求める声が区に寄せられています。これも先送りせず直ちに改善してほしいものです。